



ミュージシャン・作曲家

インタビュー
仲野 麻紀

新・駅前そぞる歩記
館林

暮らしのSPICE
小豆粥で今年の邪気を祓う

暮

トシの SPRICE

小豆粥で今年の邪気を祓う

小豆粥は『土佐日記』や『枕草子』にも登場する、伝統的な食べ物。小豆のような赤い食べ物で邪気を祓う、という中国の古い風習が基にあります。お隣の韓国では、冬至の日にパッチュクと呼ばれる小豆粥を食べる習慣があるそうです。

日本では小正月の1月15日に食べるのが一般的。紀實之も、1月15日に小豆粥を食べ損なつたと悔しがっています。今月は、清々しく新年を迎えるため小豆粥で邪気祓い！便秘の解消や高血圧にも効き目があるそうですよ。

用意するもの(2~3人前)

- 米  カップ1/2
- 小豆  大さじ4
- 水  カップ4
(イラスト内に分量外の水あり)
- 砂糖 
- 塩 
- しょうゆ又は薄口しょう油 
- 鍋 
- 水切りざる 
- 計量カップ 
- 計量スプーン 
- お玉  など



2 小豆を鍋に戻し、水をカップ4入れ、中火にかき、沸いたら弱火にして約20分、少し硬めに煮る。小豆とゆで汁に分け、ゆで汁は取っておく。



1 小豆は蒸って鍋に入れ、かぶるくらいの水(分量外)を入れて中火にかきひと煮立ちさせてざるにあげ、ゆで汁は捨てる。



3 鍋にといだ米と小豆を入れ、ゆで汁と水を足してカップ4にして加え、火にかき中火で炊く。ふたはしない。



4 煮立ってきたら底から軽くひと交ぜして、ふたを少しずらして置き、弱火で20~30分程度、好みの炊き加減になるまで待つ。



6 器によきい、砂糖、塩、しょうゆなどを添えて、好みの味付けで楽しむ。



5 おかゆが好みの炊き加減になったら火を止める





【ミュージシャン・作曲家】

仲野

麻紀

さん

3/9 16:00開演 小金井 宮地楽器ホール 大ホール
「星の王子さま」との出会い～能と音楽で綴る物語～

時代も隔てて書かれてきたフランス文学の金字塔、「星の王子さま」、日本の伝統文化の宝刀、能と出会い、サクソスの音色とともに新たなページを開きます。

出演 津村禮次郎(能楽師 観世流シテ方)、仲野麻紀(サクソス)ほか
料金 一般5000円 U25席3000円 (子供はいりません)～6歳以下
観劇 ご予約はオンライン予約専用 11月13日(土)
一般発売 11月19日(日) 形内予約開始 11月18日(土)11時～16時

お問い合わせ：042-380-8099 (チケットデスク)

仲野麻紀さんの公演のお知らせ
「星の王子さま」との出会い
 ～能と音楽で綴る物語
日時:2024年3月9日(土) 16:00開演
場所:小金井 宮地楽器ホール 大ホール
出演:津村禮次郎(能楽師 観世流シテ方)
 仲野麻紀(サクソス)ほか
料金:一般¥5000
 U25席¥3000
お問合せ:チケットデスク
 ☎042-380-8099



写真=柴田愛子/浅草エキミセ、すみだリバーウォーク®、浅草東武ホテル

アルトサクスを片手に世界を「旅する音楽家」仲野麻紀さん。旅の途中で日本に立ち寄った仲野さんが奏でる、世界各地の音と人との出逢いから生まれた、美しいプリミティヴな調べに耳を傾けよう。

金色に輝く三日月の想い出

——お生まれはどちらですか？

仲野 名古屋の生まれです。父は普通のサラリーマンでしたが、母が「アジア保健研修所」でボランティア活動に携わっていて、海外から医療研修に来る医師や看護師の方たちのホームステイ先だったんです。

——それでは小さい頃から海外の方とのふれあいがあったんですね。

仲野 ええ、東南アジア、トルコ、オマーンなど様々な国から来た若者たちなんです。1980年代にはそういう家は少なかったのですが、「仲野さんの家なら……」という評判が広がって、もうどんどん増えちゃって（笑）。いま思うとその体験

が、後に海外で多くの方とごく自然にふれあえる下地になったのかもしれない。

——ジャズに興味を持たれたのはいつ頃からですか？

仲野 ジャズの原体験は、父がラジオ番組で好きな曲をエアチェックして、カセットテープに録音していたのを聴いたのが最初です。

——エアチェック、やりましたね。サクストとの出会いはもつと後ですか？

仲野 実際にサクスに触れるずっと前、幼い頃、いつ、どこだったのか全く覚えてないのですが、天空にかかった三日月がなぜか楽器のように見えて、いつかあんな美しい金色に輝く楽器を奏でたいなと思った記憶が鮮明に残っているんです。

——いやあ、美しい話ですね。

仲野 サクストとの出会いは名古屋市立

Human-Report

…… 人間大好き ……

415

●なかの まき
愛知県名古屋市生まれ。2002年に渡仏、パリ市立音楽院ジャズ科卒業後、ヨーロッパ、アフリカ、中東、日本など世界各国で音楽活動。09年より音楽レーベル「openmusic」を主宰し、国内外のアーティストのコンサートを企画し、日仏文化交流に従事。CDはソロアルバム『openradio』など多数、著書に『旅する音楽～サクソ奏者の音の体験』があり、自身が出演するインターネットラジオ『openradio』は放送回数270回を数える。「ふらんす俳句会」会友であり、現在、俳句と音楽を融合したCDブック『古今』を制作中。

工芸高校に入った15歳の時です。部活動を決めかねていたある日、聴こえてきた音楽に誘われて、入ったのがブラスバンド部の部室で、その音がアルトサクスの音色だったんですね。まさに運命的な出会いというか、あっこれだ！という感じでした。後で知ったのですが、「名古屋市工芸」は愛知県内に2校しかない、吹奏楽部ではないブラスバンド、それもジャズの「ビッグバンド部」のある学校だったんです。自由な校風で、個性的な生徒も多かったし、受験したのは兄から「麻紀に向いているんじゃないかな」つてすめられたからなんです。

——では、高校卒業後にフランスへ？

仲野 いいえ、少し回り道しました。実は父が願書を出した女子短大に通い、卒業して就活用のスーツを着て教社面接も



仲野麻紀さんのインターネットラジオと音楽配信サイトのお知らせ



インターネットラジオ [openradio]
<https://www.mixcloud.com/makinakano/>



音楽配信サイト [bandcamp]
<https://openmusic-ky.bandcamp.com/>

※注 ウード プレクトラム（ピック）を用いて演奏する中東から北アフリカのアラブ音楽圏で用いられる弦楽器。日本の琵琶やリュートに近いが、フレットはなく半卵形状の共鳴胴を持つ。弦は6コース11弦で、うち10本の弦が5対の複弦、最低音弦のみ単弦。

受けたんですが、髪が金髪でしたから落ちました（笑）。無事2年間の「義務教育」を終えてフランスへ渡ったんです。

——「ご両親はなんと？」

仲野 特に反対しないが、援助もない（笑）。義務を果たせば、好きにやる権利が得られる。うちはそういう家風なんで。

念願の大先輩とのコラボが実現

——フランス留学は何年くらい？

仲野 音楽院は3年でしたが、その後、編曲などを専門的な学校で学びました。フランスに渡ってみて、実感したことは音楽の持っている民族性に気づかされたことですね。フランスでは地中海を挟んだ北アフリカ、中東、アラブ諸国といった地域の音楽家と一緒に演奏し、様々な国の音楽に触れることができました。これは私にとって大きな財産になりました。現在は演奏する機会が多く、友人も多いブルターニュを中心に活動しています。

——アルトサックス以外にメタルクラリネットも演奏されるんですね。

仲野 これは「ウード」^{※注}のような繊細な音色の民族楽器と共演する場合、私は強くブローする演奏スタイルではないので



ですが、アルトサックスではちょっとパワーがあり過ぎるような時に使います。

——著作の『旅する音楽』（せりか書房）についてお聞かせください。

仲野 この本はブログに書き溜めた文章に加筆し、2016年に出版したもので、各地で民族音楽の演奏家たちと共演した体験記です。現在、サイト「けいそうビブリオファイル」（勁草書房）で連載している『ごはんをつくる場所には音楽が鳴っていた』は私が旅した世界各国の音楽家やその奥様たちが作って、実際に私が食べたお料理をレシピ通りに再現し、その国での音楽体験、食体験を綴ったも

のです。

——最新作の『アマドコロ摘んだ春』はピアニストの渋谷毅^{しほや}さんと共演作なんですね。

仲野 はい、このアルバムは「伊香保ワールド・ジャズ・ミュージアム21」でのライブ音源を収録したものです。実は渋谷さんは高校2年生の時、地元名古屋のライブハウスで聴いて以来、ずっと敬愛していた大先輩なんです。伊香保に招いてくれたプロデューサーから「どなたか、共演したい方は？」と聞かれた時、まっ先にお願ひして、私にとって長年の片想いが実現したステーションだったんです。

——「アマドコロ」とは聞きなれない名前ですが、植物なんですね。

仲野 日本各地に分布する山野草で、春から初夏にスズランのように下垂した可憐な花をつけるんですが、食用にもなるんです。タイトル曲は西尾賢さんの作品で、渋谷さんとデュエットしています。

ジャズと俳句、どちらも即興が大事

——仲野さんにとって「旅」の魅力とは？

仲野 私にとって旅は人生そのものなのですが、一番の楽しみは「邂逅^{かいご}」です。



音楽を通じた、旅先での多くの方との出逢いこそが、人生の醍醐味ではないでしょうか。

——仲野さんにとって、「日本」も旅先という感覚なのですね。

仲野 先日もその旅先、それも東武鉄道さんのお膝元で素晴らしい出逢いが。予てから昭和初期に活躍したモダニズム派詩人北園克衛の本を探していたんです。ネットで検索していたら墨田区東向島の「Le Petit Parisien」ル・プチ・パリ

ジャン」というお店の名前が出てきました。ご連絡したら、3冊所蔵されているとのこと、早速お邪魔しました。東武曳舟駅に近い小さなお店なんですが、もうそこだけパリの路地裏という佇まいなんです。店内の本棚には古今東西の貴重な古書がびっしりと並んでいるんですが、本の販売はしないんです。

——えっ、古書店じゃないんですか？

仲野 ええ、かといって「ブックカフェ」でもなく、あくまで店主の方が集めた蔵

書を展示している「書齋」なんです。本や特に装丁に興味のある方たちに実物をゆっくりと手にとってもらうために、椅子まで用意されている本好きの憩いの場なんです。

——面白そうなところですね。仲野さんは俳句もやられるそうですね。

仲野 俳句は祖母がやっていて、今では父も「俳句なしでは生きられない」ほどハマっています。私が会友の「ふらんす俳句会」は「在仏日本人会」所属のクラブで、いわゆる結社ではなく、俳句を通じた友好団体で、句会や吟行も行っていきます。

——今後のご予定をお聞かせください。

仲野 実はいま「俳句と音楽」を融合したCDブックを制作中なんです。タイトルも決まっています「古今」、音はフランス語の「COON」「蘭」とのダブルミーニングです。その次は全曲ヴォーカル入りのアルバムも作りたいと思っています。

——やりたいことがいっぱいありますね。

仲野 欲張りですが、もう一つあります（笑）。実は技術屋の兄が東京スカイツリーのエレベーター設計に携わっていたと聞いたので、ぜひ一度昇ってみたいです。



ハッピーロード大山商店街
東武東上線大山駅下車すぐ
遊座大山商店街(右上)
東武東上線大山駅下車すぐ



板橋(石神井川に架かる橋)
東武東上線大山駅から徒歩約20分



商店街めぐりと「板橋」

文 高田京子

池袋駅から東武東上線で約5分の大山駅。南口改札から一步出ればすぐに「ハッピーロード大山商店街」のアーケードだ。関東でも有数の商店街で川越街道方面へ約560m続く。1978年に誕生した商店街のモットーは「一生つきあいします」。大手飲食チェーン店も立ち並ぶが、昔ながらの八百屋さんや精肉店、洋品店や和菓子店など、どこか昭和の風情が残っていて親しみやすい。

一方、踏切を挟んで東側、山手通りまで約550m続くのが「遊座大山商店街」だ。こちらはアーケード街ではないが通り沿いに板橋区立文化会館や都税事務所もあって、やはり多くの人が行き交う、活気あふれる商店街だ。

山手通りを越え、旧中山道仲宿の交差点を左に折れると「仲宿商店街」だ。旧中山道の最初の宿場町「板橋宿」に沿って石神井川まで南北に伸びた商店街は、やはり500mほどあるだろうか。板橋

宿の本陣跡や脇本陣跡の案内板があり、緩やかな起伏やカーブが続く通りはどこか旧街道らしさが漂う。

こうしたにぎやかな商店街を歩くと何となく心が浮き立つ。郊外の大規模ショッピングモールとは違い、訪れる人の大半は徒歩か自転車、各店舗は住宅街に接している。買い物でも食べ歩きでも人と人の距離が近く、店では対面販売が基本なので、人の温かみを感じられるからだろうか。

さて、ここまで来たらぜひ足を運んでほしいのが「板橋」だ。旧中山道が石神井川にかかる地点に架けられ、板橋という地名の由来となった橋は、2003年に板橋十景のひとつに選定された。一説では平安時代に架けられた板の橋がそのまま地名になり、鎌倉時代の古書にも板橋という地名が記されているようだ。この話をするると大半の人は「知らなかった!」と驚くので、板橋区のちよつとしたトリビアかもしれない。

たかだきょう / 旅行ライター

1960年、神奈川県生まれ。著書に『ニッポン最古巡礼』(新潮新書)、『四国八十八カ所めぐり』(JTBパブリッシング)など。テレビ朝日「スーパーチャンネル」特集コーナーにて「秘境ハンター」としてナビゲーターを務めた。沿線在住歴35年目に突入!

光のページェント

城沼の名園にきらめく



こんにちは、あずまです。今月は、お友だちと館林を訪れました。ここは、イルミネーションに包まれた「つつじが岡公園」です。メイン会場のもみじの岡周辺では、岡の頂上に高さ5mのツリーが立てられ、華麗な光の噴水が見られました。館林駅に戻ると、東口周辺もイルミネーションに彩られていました。(MAPの④)

今回の登場人物



ガリナ
貿易会社に勤めるマレーシア人。大学時代からのあずまの親友



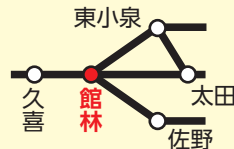
あずま
業平あずま 業平家の長女。母が経営する小学生向けの英会話教室を手伝う。趣味は旅行



東武伊勢崎線の館林駅。北干住から特急で約50分。館林の城下町散策、つつじが岡公園のほか、近年ではアニメの聖地巡りでも人気がある。1907年開設。

館林 (たてばやし)

渡良瀬川と利根川に挟まれた館林市には多くの池沼が点在し、その多くが人里近くにある「里沼」で、人々の暮らしと深く結び付き、独特の文化が育まれてきました。そんな館林市の里沼は2019年に「日本遺産」として認定されています。市の中心部にある城沼は近世の館林城築城時には天然の要塞として利用されたので、日本遺産では「守りの沼」と称されています。現代の城沼ではどんな文化が咲き誇っているのか、歩いてみました。

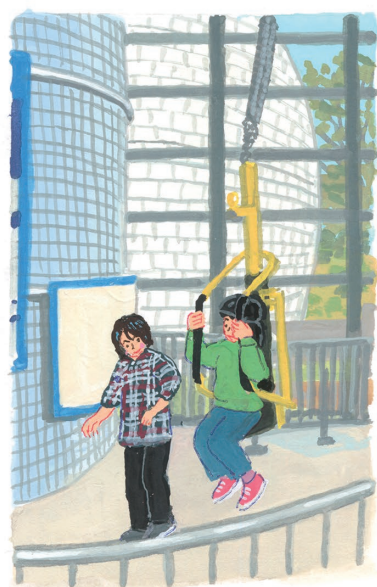




東口から「歴史の小径」をたどって、城下町の風情を楽しみながら歩きました。ここは館林城の中心部に通じる三の丸に設けられた「土橋門」。藩士の通用門だったキウで、黒門とも呼ばれています。(MAPの©)



まず訪れたのは「製粉ミュージアム」。新館と本館で製粉技術や日清製粉の歴史に触れた後、この素晴らしい日本庭園が待っていました。この庭園の先では、整備された堀跡を見学することもできました。(MAPの㊸)



月の重力を疑似体験できる「ムーンウォーカー」を楽しんでいるのは、「向井千秋記念子ども科学館」です。プラネタリウムが一番人気ですが、サイエンスショーやこのような体験コーナーも人気でした。(MAPの㊹)



ランチに入った「城町食堂」というお店。私たちが食べたのは、一番人気で地元産の卵を使った「ふわとろオムハヤシ」。また、食堂プリンや来年5月まで「限定の百年パンケーキ」も人気だキウですよ。(MAPの㊺)

城下町の風情あふれる 歴史の小径

館林の中心地には日本遺産の歴史的建造物が目白押しです。まずは館林駅。明治末期に開業した駅は館林を訪れる行楽客の玄関口で、1937年建築の木造駅舎は正面の丸時計とアーチ型の飾り窓が親しまれ、いまも健在。

館林駅西口からすぐの「製粉ミュージアム」。日清製粉グループが創業の地・館林に開設した製粉をテーマとする文化拠点です。本館は事務所として明治末期に建てられた美しい洋風建築。新館では小麦の製粉の歴史や最新技術を楽しく学ぶ展示。そして近代造園の草分け・斉藤勝雄氏設計の日本庭園。その奥には今年公開された旧館林城下町の堀跡を見ることが出来ます。当時の館林城では守りを固めるために城下町の周囲に水を引き入れ、堀と土塁で囲っていたのです。

館林駅から徒歩で城沼に行くなら「歴史の小径」がおすすめ。城下町の風情にあふれた町屋建物の商店や旧見番、茅葺き屋根の藩士住宅（武鷹館）など貴重な文化財が残る散策路です。やがて姿を見せたのは「土橋門」。館林城三の丸に出入りする城門で、潜り戸から中に入っていくと館林城内。土塁や石垣が残され、かつての三の丸の雰囲気の色濃く残っています。ここから先は城沼を擁する「つつじが岡公園」へと続きます。



つつじが岡公園にある「つつじ映像学習館」です。ここで4Dシアターを体験しました。3D映像に加え、風や振動、ミストなどの効果を体感しながら、この季節に迫力あるツツジを観賞することができました！(MAPの㊸)



「館林市第二資料館」には「旧上毛モスリン事務所」と、この「田山花袋旧居」がありました。旧居は、文豪が7歳から14歳まで「過ごした家」です。モスリン事務所はコンサートなどにも使用されるようです。(MAPの㊹)



駅近くにあった「銀座カフェ&バー LA MANON」。「よりもり」ファンが全国から(海外からも)集まるお店で、「よりもり巡礼ノート」なるものもあり。毎月第4土曜にはコンサートも開かれるとか。(MAPの㊺)



映像学習館の裏手にある小高い丘に、アニメの聖地といふべき東屋が。ザリナも大好きなアニメ『宇宙よりも遠い場所』(通称「よりもり」)に登場する東屋です。そろそろイルミネーションも始まります。(MAPの㊻)

冬つつじが岡公園は 光の花が満開

館林出身の宇宙飛行士・向井千秋さんの名を冠した「向井千秋記念子ども科学館」では、さまざまな科学体験・不思議体験ができる遊びがいっぱい。一番の人気は、群馬県最大の大型ドームで見るプラネタリウム番組です。

「旧上毛モスリン事務所」は明治末期に建設された毛織物工場の事務所。館林の産業発展を支えた歴史的建造物です。その隣には、明治の文豪・田山花袋が幼少期を過ごした「田山花袋旧居」。建物自体は江戸後期に建てられた茅葺きの武家屋敷です。城沼そばの「旧秋元別邸」は明治末期に建てられ、館林最後の藩主・秋元家ゆかりの近代和風建築。

つつじが岡公園といえば、ツツジ。園内には100余品種・約1万株のツツジの花が咲き誇り、「躑躅ヶ岡」の名で国指定名勝になっています。でもいまは冬。花の姿はありません。そこでおすすめなのは「つつじが岡ふれあいセンター」。満開のツツジが4D映像で楽しめる映像学習館や、芝のテラスが心地よい「シユガーヒルカフェ」があります。

冬つつじが岡公園のお楽しみは「イルミネーション&ライトアップ」。園内随所に約2万個のLEDライトが作り出す光の世界を堪能することができます。館林駅東口でも「光のページェント」が開催されます。



製粉ミュージアム本館
(MAPのB)

館林データファイル

〈つつじが岡公園イルミネーション〉・・・●交通＝館林駅東口徒歩30分 ●開催日＝12月9日(土)～2024年1月21日(日)まで 16:30～21:00 ●入園料＝無料

〈製粉ミュージアム〉・・・●交通＝館林駅西口すぐ ●開館時間＝10:00～16:30 ●休館日＝HPでご確認ください。 ●入館料＝大人200円/小人(小・中学生)100円 ☎0276-71-2000

〈向井千秋記念子ども科学館〉・・・●交通＝館林駅東口徒歩20分 ●開館時間＝9:00～17:00 ●休館日＝月曜、国民の祝日の翌日(土・日曜を除く)、年末年始 ●入館料＝おとな(高校生以上)330円/こども(中学生以下)無料 ●プラネタリウム観覧料＝おとな550円/こども220円/未就学児無料 ☎0276-75-1515

〈館林市第二資料館〉・・・●交通＝館林駅東口徒歩34分 ●開館時間＝9:00～17:00 ●休館日＝月曜、祝日の翌日、年末年始 ●入館料＝無料 ☎0276-74-9665

〈つつじ映像学習館〉・・・●交通＝館林駅東口徒歩30分 ●開館時間＝9:00～17:00 ●休館日＝月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始 ●入館料＝大人500円/中学生以下無料 ☎0276-74-5355

【館林市 市有施設共通パスポート】・・・向井千秋記念子ども科学館、田山花袋記念文学館、つつじ映像学習館の3施設の入館料が700円になります。

〈城町食堂〉・・・●交通＝館林駅東口徒歩17分 ●営業時間＝11:00～18:00(L.O.17:30) ●定休日＝不定休 ☎0276-55-1480

〈銀座カフェ&バー LA MANON〉・・・●交通＝館林駅東口徒歩1分 ●営業時間＝水～金 11:00～14:00 / 17:00～24:00、土 11:00～24:00、火 19:00～24:00 ●定休日＝日曜・月曜 ☎0276-55-1107



新・駅前そぞろ歩記のバックナンバーは「マンスリーとーぶ」ホームページでご覧いただけます。

※このコーナーで紹介した内容は変更になる場合もございます。

お知らせ コートヤード・マリオット銀座東武ホテル リニューアルオープン！

東武鉄道
東武ホテルマネジメント

詳細はこちら▷



コートヤード・マリオット銀座東武ホテルが、多様なゲストをお迎えできるよう大幅リニューアル。

先行して、11月1日に1階オールデイダイニング「RISTASIX」リスタシックスと地下1階「コートヤード・マリオット銀座東武バー KORIN」、銀座むらきがオープンしました。

「RISTASIX」では、「TOKYO retreat RESTAURANT」をコンセプトに、ポストコロナ時代に旅時間をかなえる料理＝“Retreat cuisine”と銘打ち、伝統を培った洋食にオリエンタルな食材や調理法をミックスした多国籍料理をご用意しています。

地下1階のバーは、オーセンティックな設えそのままに、国産洋酒を中心に作り手のこだわりが詰まった形に進化しました。

12月1日にオープンした客室においては、設備更新やデザイン刷新により快適性と利便性を向上させたほか、ファミリー・グループ向けの客室を増やしています。

このほか、日本の魅力を発信する飲食店等のショップエリアも順次オープンします。

生まれ変わった銀座の最新スポットに、ぜひお立ち寄りください。



△オールデイダイニング RISTASIX



△コートヤード・マリオット銀座東武バー KORIN

お知らせ 草加ヴァリエ「VARIE 1」第Ⅰ期エリア リニューアルオープン！

東武鉄道

詳細はこちら▷



東武スカイツリーライン草加駅直結の商業施設「草加ヴァリエ」のうち、食品の専門店が集積する「VARIE1」の第Ⅰ期エリアが、リニューアルオープンしました。

「食品地域一番店の確立」を目指し、高品質グロスアリーショップ「Daily Table KINOKUNIYA」（埼玉初出店）や、毎日の食卓に欠かせない生鮮3店（澤光青果、魚力、

ニュー・クイック）、店内で粉から仕込み、焼きたてパンをお届けするベーカリーショップ「ポンパドウル」など、上質でバラエティ豊かな食の専門店舗を20店揃えました。また、総合グロスアリーと生鮮3店の計4店舗については、商品を一度にご精算いただける共通レジを導入し、より便利にお買い物をお楽しみいただけるようになりました。ぜひお立ち寄りください。



△草加ヴァリエ「VARIE 1」

イベント 東武鉄道沿線 冬のイベント情報

☆SL大樹で「イルミネーション特別運行」を実施！

SLが走る日光・鬼怒川エリアでは、「光り輝くイルミネーション」を開催します。7回目の開催となる本年は、沿線の写真スポットである「倉ヶ崎SL花畑」で、一面に広がるイルミネーションの圧巻の景色をご覧いただけるほか、下今市～鬼怒川温泉間の各駅では、個性あふれるイルミネーションが装飾され、SLが走る鉄道沿線では最大級となる約21万球のウィンター・イルミネーションが楽しめます。また、これに合わせた夜間帯に、車内からもお楽しみいただけるSL大樹「イルミネーション特別運行」を実施します。

ぜひこの機会に、日光・鬼怒川エリアでしかみることができない、光り輝く銀河を走るSLの旅を、ご家族や友人と共にお楽しみください。

詳細はこちら▷



☆東京スカイツリータウン お正月イベント！

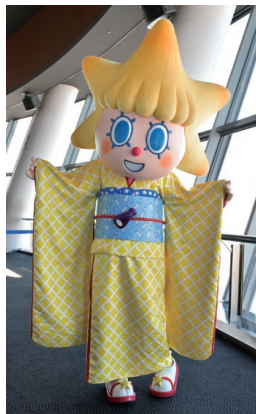
東京スカイツリータウンでは、2023年12月26日(火)～2024年1月8日(月・祝)の期間、様々なお正月イベントを開催します。

東京スカイツリー®では、新年を迎えるにあたり、日本国旗をイメージした新年特別ライティングの点灯や、華やかな晴れ着姿の東京スカイツリー公式キャラクター ソラカラちゃんによるお出迎えを実施します。

また、東京スカイツリータウンでは、皆さまの無病息災を祈願して、お囃子の音色に合わせて踊る獅子舞が登場するほか、墨田区出身の書道家 鈴木 猛利氏による圧巻の書道パフォーマンスや新年の笑い初めにぴったりなお笑い芸人ライブなど、晴れやかな気分で楽しめるイベントを多数開催します。

晴れやかで楽しいお正月を、ぜひ東京スカイツリータウンでお楽しみください。

詳細はこちら▷



△晴れ着姿のソラカラちゃんのブリーディング ©TOKYO-SKYTREE



△獅子舞のお出迎え



△初空書道パフォーマンス ©TOKYO-SKYTREETOWN

このたびスペース Xが、公益財団法人 日本デザイン振興会主催の「2023 年度 グッドデザイン賞」を受賞しました。本年7月15日より運行を開始したスペース Xは、「Connect & Updatable」をコンセプトに、従来の「スペース X」がこれまで築き上げてきた伝統やブランド・イメージを維持・継承しながら、より進化した上質なフラッグシップ特急を目指し製作した車両となっている点が評価され、今回の受賞に至りました。

また、久喜市の南栗橋駅前エリアで進めている次世代の街づくりプロジェクト「BRIDGE LIFE Platform 構想」も同賞を受賞しました。地方・郊外エリアが人口減少や高齢化といった課題を抱える中、埼玉県久喜市、東武鉄道、トヨタホーム、イオンリテール、早稲田大学 小野田弘士研究室が共同で進める本プロジェクトにおいて、産官学の垣根を越えて積極的にノウハウを共有し、連携している5者のそれぞれの強みを生かしながら、環境配慮型・次世代型のスマートタウンを実現した点が評価されました。

このたびの受賞を機に、今後も沿線住民の方々に、街への愛着や誇りを深め、満足度を高めていただくための取り組みを進めることで、さらなる地域の活性化へとつなげてまいります。

○スペース X

浅草～東武日光・鬼怒川温泉方面をむすぶ新型特急「スペース X」は、個室をはじめとする6種類の多彩なシートバリエーションを装備。様々な旅のスタイルに合わせてシートをお選びいただけます。また、乗り込んだ瞬間から目的地・日光を味わうことができるカフェカウンター「GOEN CAFÉ SPACIA X」では、地域の事業者と共同開発したクラフトビールや挽きたてのコーヒーなど、ここでしか出会えない商品を提供しています。



△コックピットシート



△カフェメニュー(イメージ)

○BRIDGE LIFE Platform 構想

多世代の方が暮らすという視点から、南栗橋駅前エリアをより満足度の高い街にすべく、暮らしを豊かにする新しいライフスタイルの実現や、先進設備を採用したスマートタウンの開発に産官学一体で取り組んでいます。5G Wi-Fi 敷設によるリモート環境を整備するほか、歩車分離をはじめ、各所への防犯カメラ設置、無電柱化、地盤強化など、災害時だけでなく普段の生活においても安心して暮らせる街を目指しています。12月3日(日)からは遊歩道にてイルミネーションを実施するなど、今後もエリア全体の活性化に取り組んでまいります。



△ BLP MINAMIKURIHASHI SMART VILLA (イメージ)



△ BLP 南栗橋イルミネーション (昨年実施時)



夜発・朝イチ銀世界行き！
スキー・スノーボード専用夜行列車
『スノーパル23：45』

東武トップツアーズ

特急リバティの車両を用いた『スノーパル23：45』は、浅草・北千住・新越谷・春日部の各駅から皆様を銀世界へとご案内します。

リクライニングシート・座席コンセント・無料ミニコ・洗浄機付トイレなどを備えた快適な移動空間が好評です。

「ゆったり2座席利用コース」では、発駅から会津高原尾瀬口駅までは隣席を気にすることなく、ゆっくりお過ごしいただけます。

基本プランはリフト1日券＋スキー場での朝食付。初心者の方にも安心なレンタルセット・スクールレッスン付プランもご用意しています。

夜行列車はちょっと苦手という方には『早朝特急プラン』『東武特急＋宿泊プラン』をご用意。浅草駅6：30発リバティ会津101号での日帰りスキーや、ファミリーでゆったりした宿泊スキーをお楽しみいただけます。



※お問い合わせは東武トップツアーズ各支店または、WEB販売センターまで。各支店の営業日・営業時間など詳細は [東武トップツアーズ](#) (検索)



根津美術館 企画展

「繻と織」
—華麗なる日本染織の世界—
12月16日(土)～2024年1月28日(日)
東京・南青山 根津美術館

豪快な古美術蒐集で名を馳せた初代根津嘉一郎(1860～1940)は、染織品も長年蒐集していました。本展覧会では、当館コレクションの礎を築いた嘉一郎の蒐集品を中心に、法隆寺や正倉院伝来の上代裂に始まり、仏教染織、能装束、そして江戸時代の小袖まで、幅広い時代の染織品の中から、織と刺繍の技が光る作品をご紹介します。同時開催展「中国の故事と人物」では中国の故事を題材とした人物画を、「寿茶会―来福を願う―」では新春を寿ぐ茶道具取り合わせもご覧になれます。

一年で最も大きな節目である年末年始、華やかかつ厳かな作品の数々をお楽しみください。



振袖 綸子地桐鳳凰模様
日本・明治時代 19世紀
根津美術館蔵



祥瑞蜜柑水指 景德鎮窯
中国・明時代 17世紀
根津美術館蔵

根津美術館 (検索) 休館日：12月4日から15日は展示替え休館。展覧会会期中の月曜日。12月25日から1月4日まで年末年始休館。



「ティンバーアコレクション」
12月7日(木)～13日(水) 10：00～19：00
※最終日は16：00閉場
東武百貨店 船橋店
5階美術画廊

欧米で活躍し、海外の権威あるコンクールで受賞したアーティストが手掛ける「逸品と呼ばれるティンバーア」を販売いたします。

こちらの作品は、強い眼差しが印象的な作家ダイアナ・サイファートの逸品。剣を持った姿が勇ましい佇まいは見る者を魅了し感動を与えます。

気品高く高貴な表情が魅力的。優しくも時には厳しい表情にも見え、出会ったあなたにとって、とても大きな存在になるでしょう。

世界で1つしかない、最高級のティンバーア。その他、多くの人気作家の可愛らしいティンバーアが会場いっぱい勢ぞろいします。

この機会にぜひ、5階美術画廊へお越しください。



パッシンブーツ 税込1,430,000円

ミュージアム

特別展『縄文コードをひもとく
一埼玉の縄文土器とその世界』
～埼玉県立歴史と民俗の博物館

📅 2024年1/14(日)まで 9:00～16:30
🕒 月曜(1/8は開館)、12/29～1/1
📍 東武アーバンパークライン大宮公園駅徒歩5分
🎫 一般 600円 / 高校生・学生 300円
*中学生以下無料
☎ 048-645-8171(学芸)

特別展 見て楽し遊んで楽し
江戸のおもちゃ絵Part2
～たばこと塩の博物館

📅 12/2(土)～2024年1/28(日) 10:00～17:00
🕒 月曜(1/8は開館)、12/28～1/3、1/9
📍 とうきょうスカイツリー駅徒歩12分
🎫 大人・大学生 100円 / 高中小・65歳以上 50円
☎ 03-3622-8801

ステージ

西村まさ彦出演公演
音楽劇『ピーターとオオカミ』
～サンシティ越谷市民ホール

📅 12/13(水) 18:30
🕒 新越谷駅徒歩3分
🎫 一般 4000円 / 高校生以下 2000円
*未就学児入場不可
☎ 048-985-1112

ギャラクシティ クリスマスコンサート2023
オーケストラが読み聴かせる物語
～西新井文化ホール

📅 12/16(土) 14:00～15:30
🕒 西新井駅徒歩3分
🎫 一般 2000円 / 3歳～小学生 500円
☎ 03-5242-8161

舞台『アサルトリリア・新章』サングリーズ
編『種の最果ての地で』 / 大島近海
ネスト調査隊編『金瘡小草の咲く時』
～シアター 1010

📅 12/19(火)～25(月) 19日・20日・22日 = 18:30、21日・23日・24日 = 13:00/18:30、25日 = 13:00
📍 北千住駅西口すぐ
🎫 1階席 9900円 / 2階席 7700円
☎ 03-5244-1011

コンサート

吉原聡クリスマスジャズコンサート
～アミュゼ柏

📅 12/16(土) 14:00
🕒 柏駅徒歩7分
🎫 一般 3000円 / 高校生以下 1500円

☎ 04-7164-4579

新日本フィル・ニューイヤー・コンサート 2024 in すみだ曳舟
《落語&オーケストラ》
～曳舟文化センター・劇場ホール

📍 古今亭志ん輔、和田一樹(指揮)ほか
📅 2024年1/6(土) 15:00
🕒 曳舟駅徒歩4分
🎫 4000円 *未就学児入場不可
📍 トリフォニーホールチケットセンター
03-5608-1212

イベント

大湯祭(十日市) ～大宮氷川神社

📅 12/10(日)
📍 東武アーバンパークライン北大宮駅徒歩10分
☎ 048-641-0137

歳の市(羽子板市) ～浅草寺

📅 12/17(日)～19(火)
📍 浅草駅徒歩5分
☎ 03-3842-0181

納めの大師 ～西新井大師

📅 12/21(木)
📍 東武大師線大師前駅徒歩5分
☎ 03-3890-2345

除夜釜(ゆく年におもいを)

～相川考古館

📅 12/31(日) 20:00～25:00
📍 新伊勢崎駅徒歩10分
🎫 参加料 1200円(前売 1000円)
☎ 0270-25-0082

アート

特別展 北斎サムライ画伝

～すみだ北斎美術館

📅 12/14(木)～2024年2/25(日)
9:30～17:30
🕒 月曜(1/8、2/12は開館)、12/29～1/1、1/4、1/9、2/13
📍 JR 両国駅徒歩9分、都営大江戸線両国駅徒歩5分
🎫 一般 1200円 / 大高・65歳以上 900円 / 中400円 / 小学生以下無料
☎ 03-6658-8936

五百城文哉生誕160年記念 文哉と放菴

～小杉放菴記念日光美術館

📅 12/2(土)～2024年1/28(日)
9:30～17:00
🕒 月曜(1/8は開館)、1/9、1/4～6
*1/1～3は特別開館
📍 東武日光駅からバス
🎫 一般 730円 / 大510円 / 高校生以下無料
☎ 0288-50-1200

企画展『東武鉄道 平成・令和の四半世紀【1999-2023】
～根津嘉澄社長・会長の25年を振り返る～』～東武博物館

東武博物館では、東武鉄道の過去25年間を振り返る企画展を開催中。この期間、私鉄最長の複々線完成、他社線との相互乗り入れ、リサイクル可能なアルミ車体の導入、回生電力の活用、線路の高架化、ホームドア設置など環境への負荷軽減や省エネ化、バリアフリー化を推進してきました。

さらに東京スカイツリータウン®開業やSL大樹の運転開始、スペースXの就役などといった大きな出来事も。これらを年表や写真、ヘッドマーク、記念式典関連の収蔵資料等で紹介しています。

📅 2024年2/25(日)まで 10:00～16:30
🕒 月曜(1/8、2/12は開館)、12/29～1/3、1/9、2/13
📍 東武スカイツリーライン東向島駅すぐ
🎫 無料(入館料は必要)
入館料: 大人(交通系電子マネー) 200円、(現金) 210円 / 子ども(4歳～中学生) 100円
☎ 03-3614-8811



東京スカイツリー®
開業セレモニー
2012年5月22日
© TOKYO-SKYTREE

※このコーナーで紹介した催しものは変更になる場合もございますので、各お問い合わせ先にて事前にご確認ください。



「三日間煮込んだ塩麹豚の肉じゃが定食」3種類の有糖ジャガイモ（北あかり、アンデスレッド、インカの目覚め）を煮崩れぬように煮込み、塩麹と出汁で柔らかく煮込んだ国産豚肉を秋田産のしょつぷで味付け、長野産の酒粕を添えた逸品。小鉢3皿、減農薬米と雑穀米のご飯に日替わりの味噌汁付き。

癒しの空間で味わう食とインテリア

ライフスタイルを提案するこだわりのオーガニックレストラン&ショップ「水ト葉」が東京ミズマチにオープンしました。

日本全国から取り寄せた安心安全な野菜や特産品、今話題の発酵食品を中心にとしたヘルシーなメニューが話題のお店です。店内やテラスには植物がいっぱい。ゆったりとくつろげる空間での食事と、グリーンやインテリア雑貨、こだわりの食品のショッピングを楽しみ、癒しの時間を過ごしてみたいかがですか。

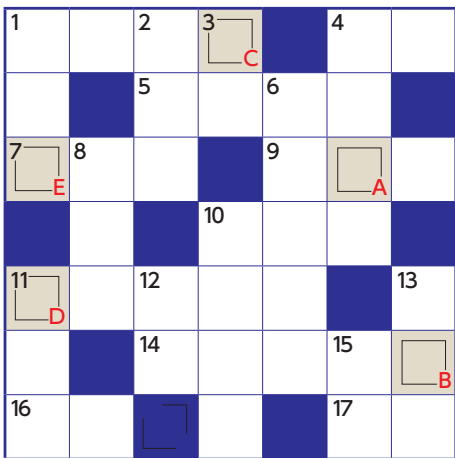
レストランのおすすめは厳選した食材を心を込めて調理した和食を中心と



水ト葉 (ミズトハ)
東京ミズマチ
東京都墨田区向島 1-2-6 (ウエストゾーンW03)
営業時間: 10:30 ~ 20:30
定休日: 不定休
TEL: 03-6240-4750
<https://mizutoha.official.ec>

したアジアの味。またレストランで味わった食材やアジア各地から取り寄せた発酵調味料、さらに店内でお気に入りの植物や雑貨に出会ったら、こちらも購入が可能です。

ミズマチで運河沿いをゆったり歩いたら、途中でぜひ寄ってみたい店、またひとつ増やしてしまいました。



【応募方法】

クロスワードの答えと住所・氏名・年齢・電話番号・本誌の入手先を書いて、以下の宛先へ。
〒131-8522 東武鉄道広報部「マンスリークロス」係(住所不要)正解者の中から抽選で10名様に図書カードをプレゼントします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。締切は **12月20日(水)当日消印有効**です。

※ご応募いただきました方の個人情報は、「マンスリークロス」当選者への賞品発送以外の目的で使用することはありません。

ホームページからもご応募いただけます。

マンスリーとーぶ 検索

☆11月号の答え 「バンシュウ」



マンスリークロス

図書カードが当たる!!

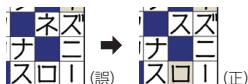
※ヒントを読んでマス目をうめ、A~Eの文字をアルファベット順に並べてください。それが答え。

●タテのカギ

- 1 館林市にある「向井〇〇記念子ども科学館」
- 2 買った物ではない。お〇〇〇のマフラーをプレゼント
- 3 二つそろってひと組。ペア
- 4 ハイカラに対抗して生まれた言葉
- 6 今年の12月21日は『昆虫記』で知られるフランスの博物学者、〇〇〇〇の生誕200年
- 8 今年の12月2日は、伝説的なオペラ歌手(ソプラノ)、マリア・〇〇〇の生誕100年
- 10 大丈夫です
- 11 タイの通貨
- 12 ロサンゼルスをこう呼ぶことも
- 13 クリスマスソング「〇〇〇が街にやってくる」
- 15 バラの花には〇〇がある

●ヨコのカギ

- 1 1927年の12月30日、上野～浅草間で開業したことから、この日は「〇〇〇〇記念日」
- 4 インドネシアにある芸能の島
- 5 館林駅西口の近くにある「〇〇〇ミュージアム」
- 7 チャンス。〇〇〇均等
- 9 太田駅から〇〇〇駅を結ぶ東武桐生線
- 10 人が発する霊的なエネルギー、独特な雰囲気
- 11 風呂上がりに羽織るもの
- 14 冬季五輪で行われる3つのそり競技、ボブスレー、リュージュ、〇〇〇〇
- 16 〇〇とスッポン
- 17 勝負は〇〇を履くまでわからない



「人のために、ひとつひとつ。東武鉄道」ポスターギャラリー

2013年秋から始まったこのシリーズは、東武グループの様々な職場で働く社員の「仕事への想い」をお伝えしています。自身の家族に語りかけられるようなキャッチコピーが、お客様の共感を呼び、「また見たい」とのご要望をたくさんいただいています。今号では2023年9月から掲出の33作品目となる「車両（検修）篇」をご紹介します。



素直な子も、手のかかる子もいる。 車両にだって性格がある。

電車に乗ると、みんな音楽とか聴いてるけど
私は、床下にある機械のかすれる音や振動音を聴いて
右前の消耗品がへつるとか、検査が近いとか思う。
そんなこと考えているのは、私ぐらいだろう。
私は、車両の点検と修繕の仕事をしている。
車両は、どこか人間みたいなところがあって
同じ型なのに、すぐに直る子もいれば、
めちゃくちゃ手間のかかる子もいる。
それぞれ修理をして、ときには駄々こねてる所まで
お迎えに行くことだってあるけど、それも嫌いじゃない。
となりに新しい子が入ってきた。さて、どんな性格かな。

人のために、ひとつひとつ。 東武鉄道



※本ポスターギャラリーは、東武鉄道ホームページからもご覧いただけます。 https://www.tobu.co.jp/corporation/rail/poster_gallery/

今号で紹介した内容は変更になる場合もございます。それぞれのお問い合わせ先にご確認ください。

マンスリーとーぶ 2023年12月1日発行（毎月1日発行）第894号

発行 東武鉄道広報部 〒131-8522 東京都墨田区押上2-18-12

東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102 ©東武鉄道 2023 Printed in Japan

※ QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●表紙／Takefumi Suzuki ※イラストはイメージです。

12月の食卓をもっと笑顔に。

料理を美味しく作るための工夫が随所に施されている、
ル・クルーゼを代表する鋳物ホーローの鍋。煮る・焼く・蒸す・揚げる・炊く・炒める、
いろいろな調理法に対応し、多彩なレパートリーで活躍します。

● [ル・クルーゼ] シグニチャー ココット・ロンド24cm ノエルレリーフアーティチョーク(スターツマミ)47,300円《数量限定》



東武百貨店 池袋店 6F 2番地 キッチンテラス

※表示価格は「消費税込み」の価格です。
※写真はイメージです。

TOBU 池袋 東武
<https://www.tobu-dept.jp>
豊島区西池袋1-1-25 〒171-8512

ナビダイヤル/0570-086-102
通話料はお客様負担となります。

営業時間: B2F~3Fは午前10時~午後8時、4F~8Fは午前10時~午後7時
6F(3・4番地)・7F(9~11番地の一部)・9F・10Fは午前10時~午後8時

休業日のお知らせ: 1月1日(月)祝

[年末・年始の営業時間] ※営業時間は変更となる場合がございます。

12月30日(土)=B2F・B1Fは午前9時~午後8時、B2F・B1F以外は通常営業

12月31日(日)=B2F・B1Fは午前9時~午後7時、B2F・B1F以外は午前10時~午後6時

1月2日(火)=午前9時30分~午後6時 1月3日(水)=午前10時~午後6時